

地域や幼稚園の特性を踏まえた不審者侵入など緊急時の体制づくり

～特別養護老人ホーム「かえで園」と連携した避難訓練～

宍粟市立波賀幼稚園 校長 菟場 幸子
〒671-4241 兵庫県宍粟市波賀町安賀654-1 Tel (0790)75-2094

I 園の規模及び地域環境

1 学級数 3 園児数47名 教職員数 6名

2 地域環境

本園は兵庫県の北部に位置し、農山村地帯で田畑、山、川など緑豊かな環境にあり、自然の景観にも恵まれている。鳥取・岡山へのアクセスも便利で、そのため、四季折々の自然を求めて、一年を通して観光客が訪れている。

地域は人情に厚く、温かい人間関係で結ばれており、園教育にも協力的である。

園舎は森林公園の一角の高台に位置し、民家と離れており、立地条件は孤立状況にある。唯一、隣に特別養護老人ホーム「かえで園」がある。



【園舎】

II 取組のポイント

- ◆ 教師間の危機管理意識の向上
- ◆ 地域や幼稚園の特性を踏まえた幼稚園独自の危機管理マニュアルの作成
- ◆ 地域の関係機関と連携した不審者侵入を想定した避難訓練の実施

III 取組の概要

1 取組の趣旨やねらい

幼児が安心して過ごすことができる幼稚園を目指して、職員、保護者、地域の関係機関との協力体制のもと、園独自の危機管理マニュアルの作成を行う。マニュアルが機能するよう訓練を実施するとともに、訓練によって得られた課題をもとに、更なる改善をしながら、幼児の安全確保のための方策を探っていく。

2 取組の内容、計画、方法

(1) 教職員の危機管理意識の向上

警察署防犯課より来ていただき、教職員を対象とした防犯教室を実施する。園の実態、地域の実態、職員の状況などに即した防犯体制の大切さや具体案について研修する。

【研修の実施】

ア 地域の関係機関との連携

隣接している特別養護老人ホーム「かえで園」の協力を得ながら、防犯体制づくりをしていく。



【幼稚園と隣接している「かえで園」】

イ 園独自の危機管理マニュアルの作成

ハード、ソフト両面から見据え、実態に即し

た設備、機器の設置及び、園児の命を守ることを最優先にした幼稚園独自の危機管理マニュアルを作成していく。

ウ 教職員の役割分担の明確化

作成した危機管理マニュアルを効果的に運用するために、適宜に訓練を実施しながら教職員の共通理解と役割の明確化を図る。

このような研修を実施することによって、職員の危機管理意識は高まり、その後の話し合いの中から、本園の安全管理の具体的な取組の方向性が見えてきた。

(2) 幼稚園独自の危機管理マニュアルの作成

ア 不審者侵入時対応マニュアル

「かえで園」に出向き、幼稚園の状況などを説明するとともに、協力を依頼し承諾を得る。

また、不審者侵入時の対応マニュアルを「かえで園」と連携をもちながら作成していく。

その中からまず、園独自の「不審者侵入時対応マニュアル」が出来上がる。

(危機管理マニュアルは最終ページに掲載)

イ 実態に即した設備、機器の設置

園児や「かえで園」事務所に、不審者侵入を知らせる機器の設備を、避難訓練を重ねながら「かえで園」職員と考案し設置する。



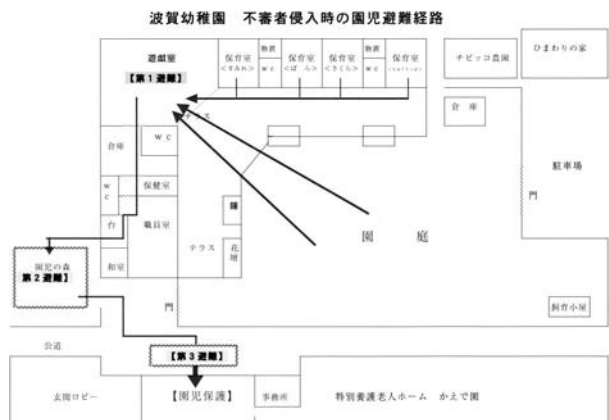
【不審者侵入を「かえで園」に知らせる赤色回転灯】



【園児に知らせる鐘】

ウ 不審者侵入時園児避難経路の作成

園児を少しでも早く安全に「かえで園」まで避難させることにポイントをおき、避難経路を選定する。

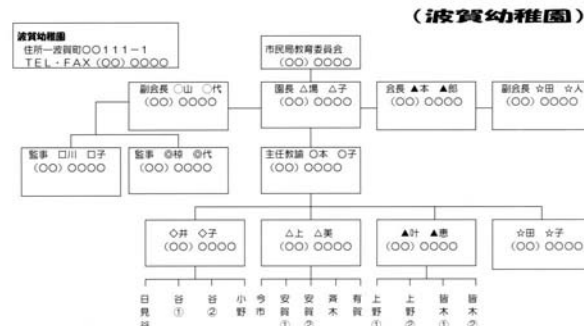


【不審者侵入時の園児避難経路】

エ 緊急連絡網の作成

保護者にいち早く正確に情報を伝えるための「緊急連絡網」を保護者とともに作成する。

<平成17年度> 緊急連絡網



自治会名	理事名	会 員 名
日野田	○尾 ○美 (OO) OOOO	○上 ○子 (OO) OOOO △本 △子 (OO) OOOO ☆山 ☆代 (OO) OOOO
谷	①▲井 ▲子 (OO) OOOO	☆岡 ☆子 (OO) OOOO □林 □代 (OO) OOOO
	△岡 ○林 (OO) OOOO	☆岡 ☆子 (OO) OOOO ▲井▲代 (OO) OOOO
小野	◎川 ◎子 (OO) OOOO	
今市	○○ ○美 (OO) OOOO	◆田 ◆子 (OO) OOOO
安野	①▲水 ▲市 (OO) OOOO	☆田 ☆美 (OO) OOOO ○林 ○子 (OO) OOOO ◎川 ◎子 (OO) OOOO ☆口 ☆代 (OO) OOOO
	△岡 ○林 (OO) OOOO	△内 △子 (OO) OOOO ◎田 ◎代 (OO) OOOO ▲田 ▲み (OO) OOOO ◎岡 ◎子 (OO) OOOO □口 □口 (OO) OOOO
南木	▲原 ▲市 (OO) OOOO	○谷 ○子 (OO) OOOO ☆谷 ☆子 (OO) OOOO
有野	☆田 ☆代 (OO) OOOO	▲水 ▲市 (OO) OOOO ○水 ○子 (OO) OOOO
上野	①○福 ○子 (OO) OOOO	▲毛 ▲代 (OO) OOOO ☆元 ☆子 (OO) OOOO □水 □子 (OO) OOOO
	△岡 ○子 (OO) OOOO	□川 □子 (OO) OOOO ☆水 ☆美 (OO) OOOO ◎水 ◎代 (OO) OOOO
水野	◆田 ◆子 (OO) OOOO	

【保護者への緊急連絡網】

オ 園児引き渡しカードの作成

園児が無事に「かえで園」まで避難できた後、保護者のもとに混乱なく全員引き渡すためにカードを作成する。

従い「かえで園」まで園児自身で避難する。



【第2次避難：園児の森から「かえで園」へ避難する園児】

⑥園児避難誘導<第3次避難：「かえで園」>

- ◎ 「かえで園」職員は玄関を開け、園児を保護する。
- 園児誘導リーダーは園児の人数確認をする。



【第3次避難：「かえで園」まで避難した園児】

⑦警察署員からの園児指導

- 避難訓練後、園児に訓練での大切なことや心構えなどについて指導を受ける。



【駐在所の方から訓練後、指導を受ける園児】

⑧警察署員から職員への指導

- 教職員のマニュアルに添った訓練の状況を見て、今後の課題や方向性についての指導を受ける。

オ 実践後の振り返り

<警察からの指導>

- ・ 園児の命を守ることが最優先なので、少しでも早く「かえで園」まで誘導することが必要である。第1次避難の遊戯室で、どうしても園児全員が揃うのを待っているため時間がかかっている。職員の人数も少なく責任も重い、不審者が気付かないルートでの第2次避難、第3次避難までいち早く誘導していくように指導を受ける。
- ・ 本園は女性職員ばかりなので、不審者に立ち向かうことは避け、必ず少し距離をおきながら催涙スプレー、椅子、机など身近なものを投げつけるなどして、園児が避難できるための時間稼ぎをすることが一番の対応であるなどの指導を受ける。

<教職員の感想>

- ・ 教職員自身がいかに冷静沈着に動くかが困難であり、状況が少し変わると対応がとれなくなることを実感する。園児の訓練以上に、まず教職員が様々なケースを想定して動けるマニュアル作りができていなかったことに気付く機会となる。

<園児の様子>

- ・ 不審者を設定しない中で避難訓練を実施したことにより、園児たちは恐怖感を持つことが少なかった。また、そのことにより一人一人が落ち着いて行動し、自分がどう行動をとればいいのかをわかり、教職員の誘導に従いながら、スムーズに訓練に参加することがで

きていた。

3 実践の成果

- ・ 園児たちの安全確保、園の安全管理、防犯に対する職員の意識が高まってきている。また、それに伴い教職員一人一人の役割が明確化し、避難訓練に取り組む体制が確立してきた。また、園児は避難訓練を通して、自分の命を守ることに対する心構えが芽生え始めている。
- ・ 地元の駐在所、地域の関係機関との連携が深まり、子どもたちの安全を確保するという意識が高まってきた。また、日頃から園を気にかけてご訪問くださるなど、地域の人々に見守られているという温かな関係が生まれてきている。

4 課題等

- ・ 「かえで園」との連携による避難訓練を通して見えてきたことは、教職員があらゆる状況を想定しながら役割を明確にすること、また、話し合いを重ねることにより、そこから出てきた課題をもとにマニュアルの改善をし、更に実践へとつなげ、より機能するものにしていく必要がある。
- ・ 今回は園児の避難訓練が主であったが、年間計画の中に保護者と連携した引き渡し訓練などの実施を組み入れることも必要であり、そうした取組を通して地域の危機管理意識も高まっていくと考える。

今後も、保護者や地域とのつながりを更に深めながら、常に多くの目で子どもたちを見守る体制を作っていきたい。

波賀幼稚園不審者侵入時対応マニュアル

